

特集 国民年金

国民年金は、高齢などで所得が減ったときでも安定した生活を支え合って保障するための制度で、加入者が納める保険料と国の負担で成り立っています。また、保険料をきちんと納めていないと年金額が少なくなったり、年金を受けられなくなったりします。いざというときに年金を受けられないという事態を避けるためにも、国民年金制度を正しく理解しましょう。

20歳以上60歳未満は全員が加入

国民年金には日本に住む20歳以上60歳未満の全体的の人が加入し、種類によって保険料を納める方法が異なります。

一年金の種類一

第1号被保険者

自営業・農業・学生など20歳以上60歳未満の人
→保険料は自分で納付

第2号被保険者

厚生年金や共済組合などに加入している人
→保険料は給料から天引き

第3号被保険者

第2号被保険者に扶養されている配偶者で20歳以上60歳未満の人
→保険料は配偶者が加入している年金制度が負担

任意加入被保険者

日本国内に住所がある60歳以上65歳未満の人や海外に住む20歳以上65歳未満の日本人ら
→保険料は自分で納付



平成29年度
保険料額は…
月額
1万6,490円

もらえる年金額を増やしたい人は、ぜひご利用を

付加(年金)保険料
月額**400円**

付加年金とは

第1号被保険者と65歳未満の任意加入被保険者(国民年金基金に加入している人を除く)は、定額保険料に加えて月額400円の付加保険料を納めると、毎年、老齢基礎年金に付加保険料を納めた月数×200円が上乗せされます。

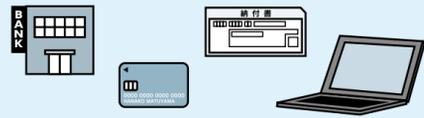


こんなときには手続きを

こんなとき	必要なもの	手続き先
20歳になった	本人確認ができるもの、認印、学生の場合は学生証(コピー可)や在学証明書	●国保・年金課(市役所別館3階)、福祉総合窓口(同1階)、市民課(市役所本館1階)、支所、出張所
会社などを辞めた	年金手帳など本人確認ができるもの、認印、離職票など退職日の分かるもの	
離婚などで配偶者の扶養(3号)でなくなった	年金手帳など本人確認ができるもの、認印、社会保険資格喪失連絡票など	●松山東年金事務所(朝生田町一丁目)
松山市に転入してきた	年金手帳など本人確認ができるもの、認印	
年金手帳をなくした	本人確認ができるもの、認印	
亡くなった	亡くなった人が加入していた年金制度によって異なります。事前にお問い合わせください。	

さまざまな納付方法があります

- ① 現金納付 (金融機関または、郵便局、コンビニエンスストアで納付書払い)
- ② 口座振替
- ③ クレジットカード納付
- ④ 電子納付 (希望者は、各金融機関にお問い合わせください)



まとめて納めると割引されます

納付方法	平成29年度 割引額(年間)		申込期限
	上記①③④	上記②	
当月末振替		600円	随時
6カ月前納	1,600円	2,240円	毎年2月末・8月末
1年前納	3,510円	4,150円	毎年2月末 ※ただし現金納付については1年および2年未満の前納が可能で随時申し込みとなります
2年前納	14,400円 (2年間での割引額)	15,640円 (2年間での割引額)	

年金をきちんと納付するためには手続きを

年金を受け取るためには、必ず加入・喪失などの手続きをしてください。納付は、口座振替の他にも、コンビニエンスストアやクレジットカードでの支払いなどさまざまな方法を選択できますので、必ず期限内に納めましょう。なお納めるのが難しい人や納め忘れがある人のために、申請免除や納付猶予、後納(全て申し込みが必要)などの制度があります。

年金を受け取るのは、こんなとき

高齢になって仕事を辞めるなどして収入が減ったときはもちろん、病气やけがなどで障がいが残ったときや家計を支えていた家族が亡くなったときなどに支給されます。



高齢になって収入が減った…

■老齢基礎年金
月額77万9300円(年額) 月額6万4941円

保険料納付期間(保険料を納めた期間や免除された期間)が25年以上ある人が、原則として65歳から受けられます。

■受給資格期間の短縮
8月から保険料納付期間が25年以上から10年以上になりました。10年以上あることが確認できた人は日本年金機構が7月上旬までに書類を順次送付する予定です。

■申請免除
本人、配偶者、世帯主の前年所得によって審査され、承認されると保険料の納付が全額または一部免除されます。受給資格期間に数えられ、一定の割合で老齢基礎年金として計算されるため、未納よりも年金額が増えます。

■納付猶予(50歳未満の人のみ)・学生納付特例(学生のみ)
本人、配偶者(学生納付特例は学生のみ)の前年所得によって審査され、承認されると保険料の納付が猶予されます。受給資格期間に数えられませんが、老齢基礎年金の金額には反映されません。



事故などで障がいが残った…

■障害基礎年金☆
1級:97万4125円(年額) 2級:77万9300円(年額)

65歳になるまでの病气やけがなどによって障がいが残ったときに受けられます。(支払いや免除など一時的に減額される場合があります)

家計を支える人が亡くなった…

■遺族基礎年金☆
子のある配偶者:100万円 子のみ:77万9300円(年額) 36000円(年額)

国民年金に加入していた人が死亡したときに、18歳未満の子(または20歳未満で障がいのある子)がいる場合に配偶者または子がいれば受けられます。(一定条件あり)

■寡婦年金☆
夫が受けるはずだった老齢基礎年金額の4分の3
保険料納付期間(保険料を納めた期間や免除された期間)が25年以上ある夫が年金を受けずに死亡したときに、生計を維持されていた妻が60歳から65歳になるまでの間、受けられます。(一定条件あり)

■死亡一時金☆
12万~32万円
保険料を36カ月以上納めた人が年金を受けずに亡くなったとき、納めた月数に応じた一時金を遺族がもらえます。

納めるのが難しい人は…
申請免除、納付猶予、学生納付特例の手続きを



過去5年以内に納め忘れがある人は…
後納(平成30年9月30日まで)



年金額を増やしたい、受給資格期間が足りない人は…
高齢任意加入



■申請免除
本人、配偶者、世帯主の前年所得によって審査され、承認されると保険料の納付が猶予されます。受給資格期間に数えられませんが、老齢基礎年金の金額には反映されません。

■納付猶予(50歳未満の人のみ)・学生納付特例(学生のみ)
本人、配偶者(学生納付特例は学生のみ)の前年所得によって審査され、承認されると保険料の納付が猶予されます。受給資格期間に数えられませんが、老齢基礎年金の金額には反映されません。

■失業特例
退職などを添付すると、退職した人の前年所得が審査から除外されます。ただし他の審査対象者に一定以上の所得があると免除が却下されます。

きちんと年金を受け取れるよう、免除や追納も利用するといんだね



「追納」しましょう
免除や納付猶予、学生納付特例の期間の保険料は10年以内であれば、後から納めること(追納)ができます。免除などが承認されて

いる期間中の保険料をそのままにしておくとも老齢基礎年金が減額されますが、追納することで年金額を増やすことができます。
※納める金額は当時の保険料に経過年度に応じた「加算額」を加えた金額です。